

## 第3回GIS実践講座の報告

2006年4月22日

NPO法人電子自治体アドバイザークラブ

### 第3回実践講座の概要

日時: 平成18年4月21日(金) 受付: 13:00 ~ 13:30 セミナー: 13:40 ~ 17:00

会場: 奈良市北部会館 3階 多目的会議室1

講座出席者状況: 出席者総数: 51名 内訳: 自治体関係者 11名

企業関係者 14名

測量関係者 4名

一般 22名

**セミナー** : 「地理情報、位置情報コンテンツの最新動向」 13:40 ~ 15:10

#### 【概要】

GISは市町村における情報システムの重要な要素であり、その関連投資は大きな課題です。一方、インターネットの普及による社会の情報化に伴い、社会基盤としての整備が求められています。その重複投資を防ぎ持続的で安全な運用には公開標準仕様の確立と適用が重要です。本講演ではGIS技術の動向や標準化状況をレビューし、今後取り組むべき方向性について解説します。



【講師】 YRP ユビキタスネットワーク研究所(東京大学坂村研究所) 高木悟氏

KDDI 研究所にて海底ケーブル建設用のセンサー・測位システム及び海底ケーブル用GISの開発、インターネット型地理情報システムアーキテクチャの考案とその普及推進活動に従事。2005年4月にYRPユビキタスネットワーク研究所に異動し、ユビキタスコンピューティングへのセマンティックWEB・SVG・GIS技術適用のための研究開発とその標準化を進めています。

・LBCS 委員会委員

・g コンテンツ流通推進協議会 goSVG 委員会副委員長

セミナー : 「空間情報共有のための GLOBAL BASE」 15:20 ~ 16:50

【概要】

近年地域ポータルと称して、歴史地理研究や観光へ地理情報の応用が試みられています。インターネット上に分散する無数の地理情報を繋ぎ合わせ、現実空間に近い一つの空間としての利用の仕方が一般的になる日がくるでしょう。既存 GIS のポータルサイトは、他のポータルサイトとの情報の重ね合せたり繋ぎ合せたりすることができません。既存 GIS がもつ問題点、そしてそれらを GLOBALBASE プロジェクトがどのように解決しようとしているのかを解説します。



【講師】 大阪市立大学助教授 森 洋久氏

東京大学理学系研究科情報科学専攻博士課程退学。東京大学総合研究博物館助手、国際日本文化研究センター助教授を経て、現在大阪市立大学文学部地理学教室助教授。様々な学術資料のアーカイブ、特に空間情報を中心としたアーカイブの方法を研究しています。現在は、様々な空間情報をインターネット上でつなぎ合わせる GLOBALBASE プロジェクトを推進しています。

## 所感

今回も、各方面から多くの参加者があり、この分野の関心の高まりが感じられます。特に、本日の講師は、お2人も、新進気鋭の30代の若い学者で、社会基盤としてIT/GISの次世代を担う最先端をリードする研究をされており、現在の課題と今後の展開について、アカデミックで学術的な、分かりやすく解説していただきました。今後、GISを導入

する自治体にとって、将来の方向性を見極めながら、現在何をやるべきかを考える必要があると思われます。

1. 地理情報、位置情報、コンテンツの最新動向（講師：高木 悟氏）

社会基盤としての WWW、及び WWW における地理情報の重要性が高まっており、情報システム全体が抱える課題について、特定のベンダー、及び特定の業界にシステムがロックイン(囲い込み)される問題点について、非常に興味のある説明があった。囲い込み手法も時代と共に変化しており、対抗策が必要である。最近の XML、Web Service の問題点として意味のない ML が乱立しており、誇大広告となっている。地図表現の標準としての SVG、WWW の理念をもとにした GIS、ucode 等の現状分析、また、GIS の将来像“セマンティック WEBGIS”について、更に場所情報の標準化活動の国内・海外動向、社会基盤としての発展性と現状の課題について、分かりやすく解説があった。

2. グローバルな情報体系を実現する自律分散 GIS 基盤ソフト（講師：森 洋久氏）

GLOBALBASE アーキテクチャーは、標準化されていない座標系上の空間情報の共有を目指した GIS であり、異なった座標軸上の空間情報を一つのつながった空間の空間情報として利用し、参照できる。座標軸の違うイラストから公共測量座標系に重ね合わせたり、一つのアーキテクチャーで、イラストなどの簡単な地図から測量用の高度な地図など、あらゆる座標構造が混在しても任意に定義できる座標変換が可能となる。非常におもしろい発想の取組であると思われる。

**【共催】：** 奈良大学文学部地理学教室 (<http://www.nara-u.ac.jp/>)

NPO 法人電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC) (<http://e-aac.naist.jp/e-AAC/>)

**【後援】：** 奈良県、奈良県市長会、奈良県町村会、奈良県中小企業支援センター、日本測量協会、  
地理情報システム学会、GIS 総合研究所、奈良県測量設計業組合、  
奈良県土地家屋調査士会

**【協力団体】：** YRP コピキタネットワーク研究所、ESRI ジャパン(株)、インフォマティクス(株)、  
日本GPSソリューションズ(株)、大阪市立大学、総合システムサービス(株)、  
NTT 西日本(株)、富士通(株)、(内閣府認証 NPO)GIS 総合研究所、西宮市

### 第3回 GIS 実践講座の風景

[写真 1、](#) [写真 2、](#) [写真 3、](#) [写真 4、](#) [写真 5、](#)  
[写真 6、](#) [写真 7、](#) [写真 8、](#) [写真 9、](#) [写真 10、](#)